

## 「若竹のように伸びゆく六中生」

本校の教育目標である豊かな人間性とたくましく生きる生徒の育成を目指して、様々な教育活動を取り組んでいく。

勉強面では、少人数での個別指導を大事にし、朝読書、終礼学活の際の5教科のドリル学習、定期テストや長期休業中の補習授業、学習支援員による3教科の取り出し指導を実施していく。

健康・体力では、マラソン大会、体カテスト、歯磨き週間、歯科医師講話、水泳教室などを実施し、健康保持・増進と体力向上を図っていく。

小学校との連携では、第七小学校の教員と合同研修会を実施し、地域の子も達を9年間で育成していく。児童・生徒では、合同下校訓練、合同音楽会、児童会と生徒会の交流などを図っていく。

オリンピック・パラリンピック教育では、アスリートによる実技と講演、障害者スポーツの体験と理解、日本の伝統文化の理解を図っていく。

地域との連携では、地域の人材を生かした職業講話、職場体験を実施する。また、農業体験、茶道体験、琴の奏法体験などの体験も図っていく。また、地域の防災訓練、市民文化祭、黒沢川清掃、消防団との避難訓練、ジュニアリーダーの育成など、地域の各手団体との連携を図っていくとともに、ボランティアに積極的に参加し、自己有用感の育成を図っていく。

このような活動を通して、生徒は自己肯定感や自己有用感を高めたり、自らが主体的に学ぶことができるようになり、自分自身をより良い方向に変容してきました。また、保護者や地域の方々からのご支援、ご協力をいただき中で、中学生がそれらの活動に積極的に活動することにより、お互いの関係を更に深めることができました。

これからも、地域の中の学校として、地域の特色を生かした特色ある教育活動を展開していきます。